

美和小学校 学校だより

美 風



令和2年12月10日

★美和小学校

令和2年度第7号
(通算291号)

野外活動

今年度、コロナ禍の影響で延期されていた野外活動ですが、11月4日(水)に日帰り日程ながら、無事に実施することができました。

野外活動では、コマ図を片手にグループで協力してミッションをクリアしていくウォークラリーと、ろうそくの火を囲んで式典やスタンプを行うキャンドルファイヤーを行いました。

まず、ウォークラリーは以下の3つのミッションの合計点で順位を決定しました。

- ①12班が3分ごとに出発して80分に近いタイムでゴールすること。
- ②ルート中の神社にある石像の文字を探してくること。
- ③袋に砂浜で500gの砂を詰めてくる。



各グループではコマ図を片手に周りをキョロキョロ。みんなで相談しながら山に登り、山頂の展望台で景色を眺め、坂を下り、海岸の灯台を目指しました。ゴールで教員の姿を見つけると、みんなほっとした表情になったのが印象的でした。普段とは異なる自然の中でみんなが協力しながら、仲よく活動することができました。

次はキャンドルファイヤーです。式典では、代表児童が火の神様にいただいた「勇気・思いやり・協力・奉仕」の火を分火して、講堂の暗闇の中に一人一人のろうそく

の火が美しく灯りました。続いて、楽しみにしていたスタンプです。各クラスが考えて練習してきた「猛獣狩り」「誕生日チェーン」「美和小クイズ大会」「飼い主と犬」を披露しました。中央で燭台の火が全体を灯す中、それぞれのスタンプで、交流を深めることができました。

学校に着くと、最後に、教員が準備したサプライズのトーチトワリング。ごうごうと燃えるトーチの火の舞が闇夜を彩りました。その光景が児童の心の中に想い出の一場面として残ってくれば幸いです。

これまでの「あたりまえ」が「有り難い」ことになってしまった今年度。当たり前のように支えてくれている家族や、普段そばにいてくれる友達の存在に「ありがたい」という感謝の気持ちをもって、これからの学校生活を過ごしていってみたいと思います。



【5年担当:富板知香 羽賀紳泰】

児童会活動について



児童会活動では、コロナ禍でいろいろなことが制限される中でも「全校の活気や笑顔が絶えることのない学校」を目指し、「今できること」を考えて取り組んでいます。児童会が進行を務める朝礼は、運動場や全校放送など、場所や形を変えて行っています。緑の募金や赤い羽根募金の活動では、ポスターを作って各クラスに協力を呼びかけました。また、運動会に変わる行事の名前を募集し、「ミワリンピック」の掲示も協力して作成しました。人権週間には、善行を紙に書いて交流する「イイねボックス」の取組を工夫しました。さらに、地域交流として、市役所と株式会社ナテックへ、日頃の支援のお礼に飼育栽培委員会が育てた花を贈りました。代表児童が堂々とスピーチをする姿はとても頼もしかったです。美和小を引っ張っていくリーダーとして、頑張っています。

【児童会担当：坂田未歩 渡辺愛】

委員会活動の様子（保健委員会）

保健委員会の常時活動は、各手洗い場のアルボースの補充と水道水の水質検査です。当番を決めて交代で活動をしています。

感染症の予防のため、美和小学校の児童は、1日に何回も手洗いをしています。アルボースの消費が早いので、「足りなくなっている」と、気をつけて補充しています。水質検査をしているときには、「いつも通りだ」「少しくすいかな」と薬液の色を一生懸命見て塩素濃度を調べています。

どちらの活動も全校児童の健康を守る大切なものだと考え、保健委員会の皆が前向きに活動に取り組んでいます。

【保健委員会担当：村松智子 岡戸香織】

